行政情報

令和７年度「技能検定」の実施状況と「配管」職種の概要について

～新たに約32万6000人が「技能士」に合格、のべ930万人を突破～

厚生労働省ではこのほど、令和７年度「技能検定」の実施状況がまとめられ、公表されました。その結果、令和７年度の合格者数は32万6,045人となりました。

技能検定制度は、働く上で身につけるべき、または必要とされる技能の程度を国が証明するもので、現在133職種で実施しています。この検定に合格した人だけが「技能士」を名乗ることができ、昭和34年度の制度開始から今回の実施までで、のべ約937万人が合格しています。

ここではその中の「配管」職種について、受検申請者数の推移や試験の概要・スケジュール等を掲載します。他の職種や全体の詳細については、令和８年８月17日付の厚生労働省の報道発表資料よりご覧下さい。

【「配管」職種受検申請者数の推移】

過去６年間の配管職種の受検申請者数の推移は下記グラフの通りです。

尚、この６年間の平均受検申請者数は5,675人、また令和７年度の合格者数は3,316人となっています。

